

坂井の海岸防災林

全景
(坂井市三国町浜地側より
あわら市浜坂方面を望む)



突堤工状況
(あわら市波松より坂井市三国町浜地方面を望む)



森林造成状況(海側より山腹面を望む)

海岸防災林造成事業は、海岸に防潮工等を設けて波浪による海岸線の侵食を防止するとともに、その背後に森林を造成して飛砂の被害、風害、潮害、霧害等を防止または軽減する事業です。

海岸防災林造成事業の概要

坂井市三国町～あわらし海岸線

事業の施工経緯

当海岸は、坂井市三国町浜地区からあわらし市城、波松地区に一部国有林を挟み、石川県境のあわらし浜地区に至る延長8,770m(民有林7,460m、国有林1,310m)の海岸で、その背後に約90haのクロマツの植生を主体とする潮害防備保安林が形成されています。

この海岸は、毎年の冬季波浪により激しい浸食を受け、海岸線が著しく後退して人家に被害が発生し、大正末期には6戸の人家が移転しました。

これに対処するため、県は昭和38年から防潮林造成事業(海岸防災林造成事業)に着手し、平成14年度に防潮護岸工7,460m、山腹工21ha等の防災工事が完成しました。

工事着手後も幾度の波浪災害に見舞われ、昭和56年1月には10箇所で防潮護岸工1,536mが被災し、復旧事業費が10億9千万円にのぼる甚大な被害が発生しました。近年では平成14年1月に防潮護岸工と消波根固工180mが被災し、復旧事業費2億4千万円、平成16年2月に防潮護岸工68m、消波根固工125mが被災し、復旧事業費1億4千万円、また、平成20年11月に防潮護岸工99m、消波根固工177mが被災し、復旧事業費1億6千万円をかけて復旧しており、これまでの防潮護岸工等の施設災害復旧工事費総額は27億5千万円となっています。

突堤工は、海岸の激しい漂砂活動を海中施設で抑制し、汀線の安定を図ることを目的としており、当海岸の民有林部分に18基の設置を計画しています。平成9年度から工事に着手し、平成20年度までに10基が完成しています。



冬季波浪状況(あわらし市波松地区)

坂井市三国町浜地～あわらし市浜坂地係

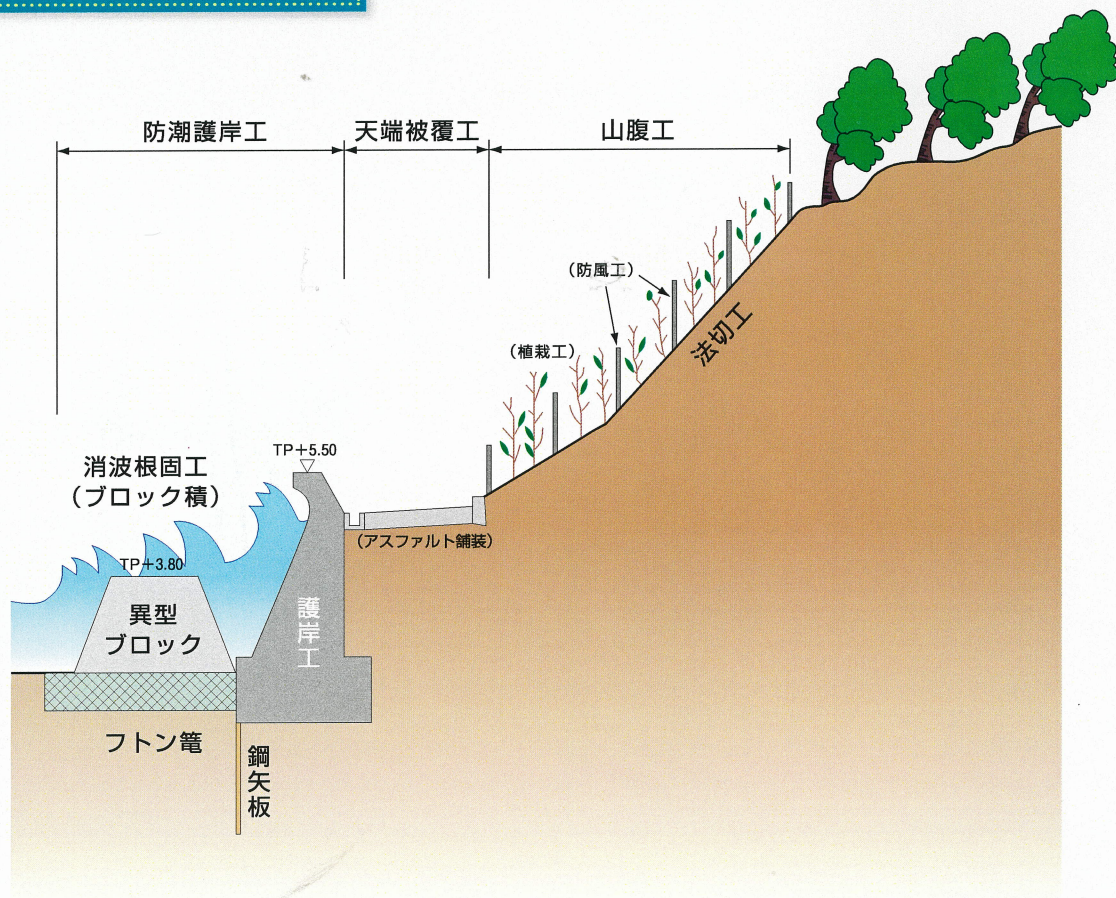
全体位置図



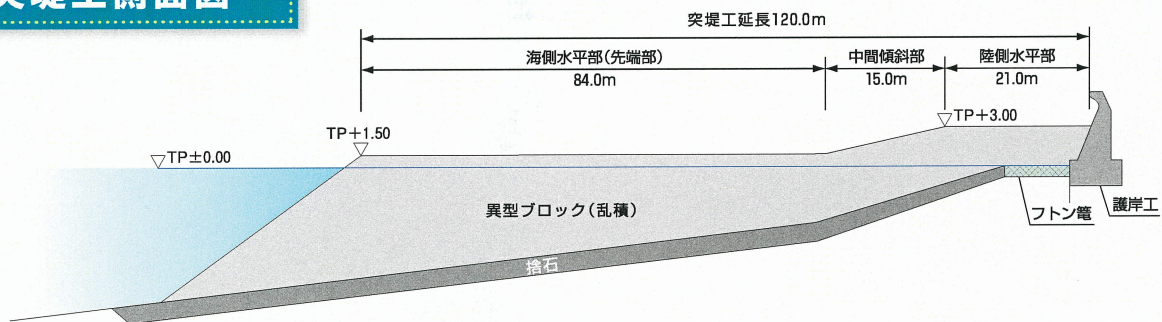
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号) 平18北環-第2号」

海岸防災林造成事業の概略図

護岸工・山腹工標準断面図



突堤工側面図



突堤工（漂砂活動を抑制し、汀線の安定を図っています。）



丸太防風柵工（冬期風浪等から植栽木を守るため、県産間伐材を活用した防風工を施工しています。）